

# つなごう福祉の絆 安心して暮らせる町づくり

## 中央第一地区の元気プラン！

住民発！

中央第一地区 小地域福祉活動第一次計画



ふれあいネットワーク

中央第一地区社会福祉協議会

## ごあいさつ



私達、中央第一地区では、地域みんなが安心して暮らせる支え合いの町づくりを目指して社会福祉協議会・自治会・まちづくり協議会が三位一体となり地域福祉活動に取り組んできました。

なかでも、ふれあいネットワークの活動推進事業では10数年前から基本事業の柱として次世代地域福祉活動者育成としてウエルクラブの取り組みを積極的に推進してきました。地域の宝である子ども達に、ふれあいネットワーク事業を体験してもらい次の世代の活動者を育てると共に、保護者等も加わった地域住民主体の福祉の風土作りを目指し、毎年八幡小学校の4年～6年の生徒達10

数名と約半世紀に亘る福祉活動の取り組みは、確実に地域に定着し今では中央町方式と言われるまでに浸透してきました。

中央第一地区は、高齢化に依る福祉支援者の不足・福祉の場作り等、新しい仕組み作りが必要になってきたところです。その為、地域では福祉を担う各種団体や地域の皆さんと共同で課題を解決していく為に「中央第一地区 小地域福祉活動計画」を策定し、取り組むことになりました。

この計画は、平成30年度立ち上げ5か年計画で地域の皆さんがお互いに助け合い、福祉の絆で安心して暮らせる町づくりを目指し推進したいと考えています。

この計画の実施に当たり、地域の皆さんのご理解とご協力を賜ります様をお願い申し上げます。

この計画の策定に当たりご尽力いただきました策定委員並びに関係各位の皆様へ感謝申し上げます。挨拶と致します。

## 《目 次》

1. ごあいさつ・目次・・・・・・・・・・・・・1 p
2. 第1章 計画策定にあたって・・・・・・・・・・・・・2 p
  - ① 計画の性格について
  - ② 計画の期間
  - ③ 計画の目的
  - ④ 計画の策定経過
3. 第2章 中央第一地区の現状と課題・・・・・・・・・・・・・2 p～3 p
  - ① 地域社会の動向【中央第一地区のデータ】
  - ② 地域の特性
  - ③ 地域の福祉課題
4. 第3章 計画体系・・・・・・・・・・・・・4 p～8 p
  - ① 基本理念
  - ② 基本目標
  - ③ 実施項目（体系図）
  - ④ 重点実施項目
  - ⑤ 計画の推進

## 第1章 計画の策定にあたって

- ① 計画の性格について  
この計画は、中央第一地区の様々な福祉課題を解決するために、住民の立場で関係機関・団体等が将来の福祉未来像を描き、計画的に活動するための行動計画です。
- ② 計画の期間  
2018年から2022年までの期間です。
- ③ 計画の目的  
小地域福祉活動では、地域の福祉課題を単年度で解決することが難しく、その課題に対し、5年後の目標・目的（まちの夢、将来像）を皆で話し合うことによって連携・協働による小地域福祉活動の基盤強化に繋げていきたいと思っています。
- ④ 計画の策定経過  
中央第一地区では、地域福祉活動に取り組んでいる関係機関団体等の意見を踏まえて、中央第一地区の小地域福祉活動計画策定・推進委員会を設置しました。

## 第2章 中央第一地区の現状と課題

【中央第一地区のデータ】

2017年9月30日現在

| 人 口           | 3,414名  | 施 設        | 名 称           |
|---------------|---|------------|---------------|
| 14歳以下         | 439名  | 保育所        | 中央保育所         |
| 15～64歳        | 1,843名  | 小学校        | 八幡小学校         |
| 65歳以上         | 1,132名  | 中学校        | 中央中学校         |
| 世帯数           | 1,803世帯   | 放課後児童クラブ   | 八幡小学校放課後児童クラブ |
| 高齢化率          | 33.20%  | 市民センター     | 八幡大谷市民センター    |
| 一人暮らし高齢者数     | 466名  | 地域包括支援センター | 八幡東2          |
| 中央第一地区社協の構成地域 | 中央1～3丁目地区<br>東田1～2丁目地区  |            |               |
| その他の社会資源等     | 八幡東区役所、八幡東区社会福祉協議会、<br>八幡体育館、高炉台公園、大谷球場、福岡銀行八幡支店、<br>北九州銀行中央町支店、西日本シティ銀行八幡支店、<br>福岡ひびき信用金庫中央町支店、みずほ銀行八幡支店、<br>八幡郵便局、八幡中央三郵便局<br>デイサービス生活CAN、愛香苑、中央区商店街<br>いのちのたび博物館、イノベーションギャラリー、環境ミュージアム |            |               |

## ① 地域の特性

中央第一地区の特性の一つは、二つの商業地区があるという事です。戦後からの商業地区である中央区商店街を中心とする中央二丁目地域、2001年の北九州博覧祭の跡地に開発されたイオンモール八幡東を中心とした東田地域です。東田地域は商業施設の開発に伴い、高層マンションや新日鐵住金の独身寮や労働金庫などの金融機関も出来て世界遺産のある町として各種企業の進出も盛んです。

二つ目の特性は、区役所や各地方銀行や信用金庫などがある中央地域と、いのちのたび博物館や環境ミュージアム・イノベーションギャラリーなどの文化施設がある東田地域がある事です。

三つ目の特性は、高齢者が多い中央地域と若者が多い東田地域に世帯構成が分かれているという事です。

この特性を活かしながら様々な町づくりを考え、福祉活動を考て行かなくてはいけないと思います。

## ② 地域の福祉課題（及び小地域福祉活動の課題）

中央第一地区社会福祉協議会では、これまで様々な福祉活動を行ってきました。特に次世代を担う子ども達のウェルクラブ活動では、高齢者や障害のある方との「ふれあい」を中心に活動を行ってきました。

しかし、近頃頻発する近隣の地震や豪雨災害を考えると、地域高齢者や地域活動への興味を持たない方の把握にもっと力を入れるべきではないかと考えました。

75歳以上の方が多く住む地域の把握と、家に引きこもりがちの方へ気軽に出かける事が出来る場所や企画の提供を行い、深く細やかに地域の方々とふれあいたいと考えました。

そのためには関係団体との協力や地域の社会資源の活用にもっと力を入れて、地域福祉活動への理解を深めたいと思います。



### 第3章 計画体系

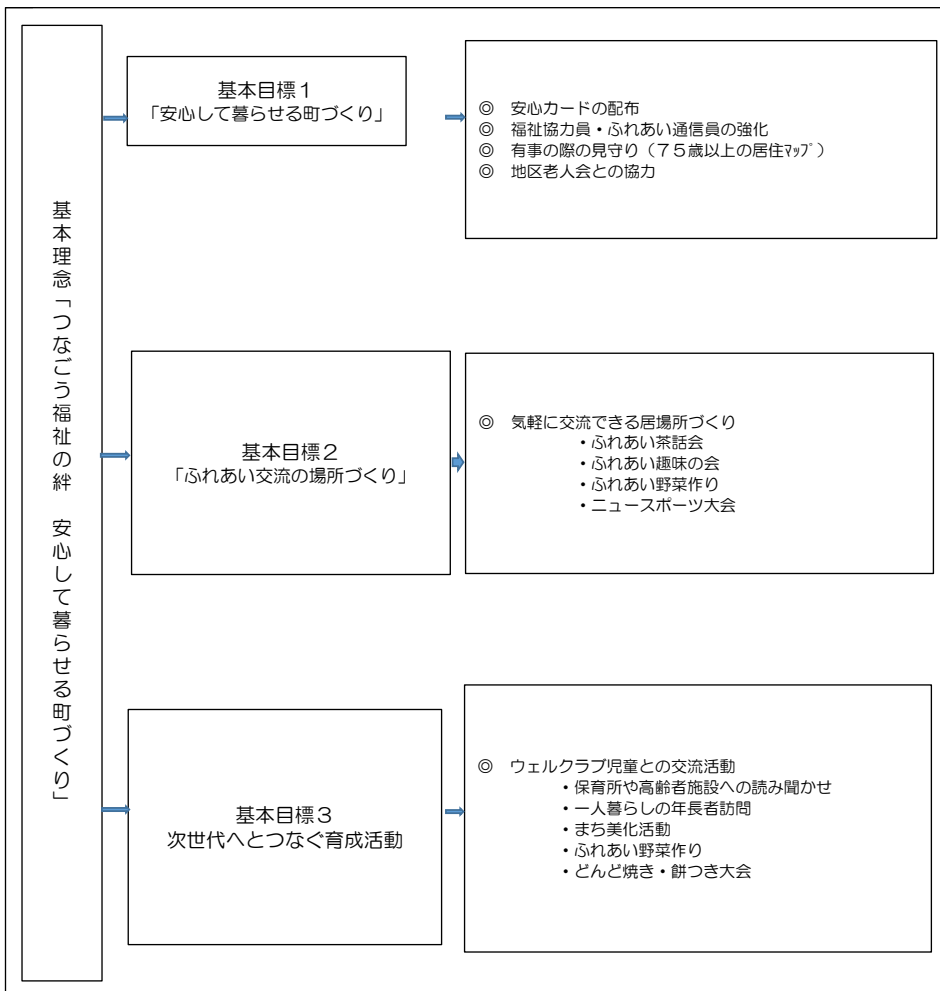
#### 1. 基本理念「つなごう福祉の絆 安心して暮らせる町づくり」

中央第一地区では、子どもから高齢者まで、安心して暮らせる町づくりを目指していきたいと願っています。そこで、「つなごう福祉の絆、安心して暮らせる町づくり」をテーマとし基本理念として、計画を推進していきたいと思っています。

#### 2. 基本目標

- ① 安心して暮らせる町づくり  
町内会などの加入が減り、正確な情報共有や、高齢者や要支援者などの把握が出来ないなどの危機感がある。  
そのため、福祉協力員やふれあい通信員などの強化を図りたい。
- ② ふれあい交流の場所づくり  
向こう三軒両隣、家に引きこもりがちな人を誘い合って、まずは茶話会から始めてみよう。小さなサークルから少し大きなサークルへ！
- ③ 次世代へつなぐ育成活動  
年長者や保育園児等との交流を通して、子ども達に次世代を担うボランティア精神を伝えたい。

#### 3. 実施項目（体系図）



#### 4. 重点実施項目

##### ① 安心して暮らせる町づくり

###### ◎ 課題背景及び現状

近年とみに町内会・自治会への加入が減り、隣は何をする人ぞと言う様になり、正確な情報共有が出来ないなどの危機感が募り、有事の際など救援活動が困難になりつつあります。その為には地域の福祉協力員やふれあい通信員が情報収集を図り地区社協と協力してレベルアップを成し遂げたい。

###### ◎ 活動の方針・目標

まずは安心カードの配布を行い、各項目の記入と救助の際にすぐわかる場所への保管をしてもらう。

福祉協力員等の強化を図り、75歳以上のマップづくりなどによって高齢者を把握する。

地域老人会と協力して、訪問活動等をする。

#### 段階的な取り組みの年次計画

| 取り組み内容          | 連携機関                              | 2018年 | 2019年 | 2020年 | 2021年 | 2022年 |
|-----------------|-----------------------------------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 安心カードの配布        | 民生委員・児童委員<br>自治会<br>老人会<br>小学校PTA | →     |       |       |       |       |
| 福祉協力員ふれあい通信員の強化 |                                   | →     |       |       |       |       |
| 75歳以上の居住マップづくり  |                                   |       |       | →     |       |       |
| 地区老人会との協力       |                                   |       |       |       | →     |       |
| 点検・評価           |                                   |       |       |       |       | →     |



#### 4. 重点実施項目

##### ② ふれあい交流の場所づくり

###### ◎ 課題背景及び現状

社協や自治会・まち協など これまで様々な事業を展開していますが、参加される方の大多数は同じ顔ぶれという状況が続いています。それを打開するためには、どうしたら良いかと考えます場所づくりではないかという結論になりました。

家に引き込まれたまま、全てに興味をなくしている方々にどうやったら、出て来てもらえるのか、人見知りの方もいるでしょう。それでも、誰かがお茶にでも誘うと出てきてくれるかもしれない、と思い小さなサロン作りを考えました。

###### ◎ 活動の方針・目標

向こう三軒両隣の精神で、近くのサロンでの茶話会に誘ってみよう。その後は出かけることに抵抗が無くなったら、次は地域の方をお願いして手芸や絵手紙等の趣味の会に誘ってみようと言う様に、まず出かけてきてもらうという事に重点を置き次のステップに進んでいきたいと思いました。そして小さなサークルから大きなサークルへと輪を広げて行きたいと考えています。

段階的な取り組みの年次計画

| 取り組み内容          | 連携機関  | 2018年 | 2019年 | 2020年 | 2021年 | 2022年 |
|-----------------|---|-------|-------|-------|-------|-------|
| 居場所づくり委員会を立ち上げる | まちづくり協議会<br>民生委員・児童委員<br>自治会<br>老人会<br>ウェルクラブ児童 | →     |       |       |       |       |
| サロン開設実行（4か所程度）  |   |       | →     |       |       |       |
| 小さなサロンから大きなサロンへ |   |       |       | →     |       |       |
| 点検・評価           |   |       |       |       |       | →     |





#### 4. 重点実施項目

##### ③ 次世代へつなぐ育成活動

###### ◎ 課題背景及び現状

従来の中央第一地区社会福祉協議会の次世代活動は、ウェルクラブの活動をメインとしていました。地域高齢者や障害者の方々との「ふれあい」を中心に、事業を展開してきました。でも、限られた方々との交流しか出来ていないのではないかとその思いがありました。

###### ◎ 活動の方針・目標

中央第一のウェルクラブは小学校を卒業しても、市民センターの中学生ボランティア「サーテーンズ」に加入し、福祉活動や様々な行事のお手伝いをする子ども達が増えてきました。このボランティア精神の火を消さないように、もっと多くの地域の方々に触れ合ってもらいたいと考えました。本当の意味の次世代へつなぐ福祉活動と言う事で、年長者から赤ちゃんまでとの「ふれあい」中央第一地区ってどんな所という事を、どんどん認識してほしいと考えました。

#### 段階的な取り組みの年次計画

| 取り組み内容           | 連携機関  | 2018年 | 2019年 | 2020年 | 2021年 | 2022年 |
|------------------|---|-------|-------|-------|-------|-------|
| ウェルクラブ児童との交流活動計画 | まちづくり協議会<br>民生委員・児童委員<br>自治会<br>老人会<br>ウェルクラブ児童<br>保育所<br>小学校<br>中学校<br>高齢者施設 | →     |       |       |       |       |
| 高齢者施設や保育所などへの訪問  |   |       | →     | →     | →     | →     |
| 一人暮らしの自宅訪問       |   |       |       | →     | →     | →     |
| サロン活動への参加        |   |       |       | →     | →     | →     |
| 点検・評価            |   |       |       |       |       | →     |





## 第4章 計画の推進

- ① 関係団体への承認と周知  
地区社会福祉協議会関係団体への計画の承認と周知を行い、協力依頼をする。
- ② 小地域福祉活動計画推進委員会の設置  
計画推進のため、中央第一地区福祉活動計画の策定・推進委員会を設置し、計画の進行管理を行う。
- ③ 第一次計画の評価と第二次計画の策定  
第一次計画の総括評価をし、その結果を踏まえ、第二次計画の策定をする。

### 第一次中央第一地区社協小地域福祉活動計画策定・推進委員会名簿

| 氏 名       | 所 属 団 体         | 役 職   |
|-----------|-----------------|-------|
| 畠 中 聡 之   | 中央第一地区社会福祉協議会   | 委 員 長 |
| 竹 中 弘 昌   | 中央地区民生委員児童委員協議会 | 委 員   |
| 古 野 智 慎   | 中央第一自治区会        | 委 員   |
| 島 添 恵 子   | 八幡大谷まちづくり協議会    | 委 員   |
| 永 井 正 和   | 中央第一自治区会青年部     | 委 員   |
| 吉 川 美 基 代 | 中央第一地区社会福祉協議会   | 委 員   |
| 橘 美 智 子   | 中央第一婦人部         | 委 員   |
| 吉 村 敦 子   | 八幡小学校放課後児童クラブ   | 委 員   |
| 木 原 雅 子   | 八幡大谷地区少年補導委員    | 委 員   |
| 竹 中 良 信   | 中央第一自治区会        | 委 員   |
| 藏 内 保 明   | 八幡小学校           | 委 員   |
| 三 船 里 佳   | 中央中学校           | 委 員   |
| 酒 匂 美 智 子 | 八幡大谷市民センター      | 委 員   |



☞ 社会福祉協議会のイメージキャラクター ☞



『プチボザウルス』(Petit vosaurus)

Petit (プチ ちっちゃな)  
Volunteer (ボランティア)  
Saurus (サウルス 恐竜)

中央第一地区社会福祉協議会です

